

公益社団法人青森青年会議所  
2018年度 まちの活力向上委員会 事業計画書

担当副理事長 出戸端 稔史  
委員長 岡島 裕史

【基本方針】

青森市は陸・海・空のインフラが整い、県外をはじめ国外との交流も出来るまちです。多くの人が行き交うまちとして、市民も外からの人を迎え入れる意識を持つことの必要性がでてくる中で、更に明るく活気溢れるまちにするべく行動できるチャンスとして捉えることが大切です。市民が明るく青森の魅力を伝え能動的にまちを盛り上げられるようにし、市民同士お互いを尊重しながら外部との交流を意識し活発に行動していくことが必要です。

まず、市民が明るく青森の魅力を伝えられるようにするため、暮らすまちの魅力を改めて認識し笑顔になれるフィールドワークを開催し参加していただきます。参加した人だけでなく様々な媒体を通して多くの市民と共有し笑顔をどんどん広げまちの活気を生み出し、市民の能動性を喚起します。合わせて、おもてなしとは相手に対し心を配り接することであり、日常的に市民同士が心を配り接することがおもてなしの気持ちを伝える第一歩です。市民一人ひとりが常に心温まるおもてなしで相手を迎えられるようにするため、まず市民が近隣の人々に心を配り接することでまちの雰囲気明るくし、青森を訪れる人々に対し実践出来るよう学びの場を設け伝播させていきます。そこで生まれる双方の笑顔を糧に更に笑顔を広げていく運動を進めていきます。この2つの事業で笑顔とおもてなしのサイクルを作り出し、多くの人に実践してもらうことによって活力が向上しまちの活気を今以上に生み出していきます。

笑顔とおもてなしのサイクルに共感してくれる人にまちづくりに参加してもらうことによって更に活気あるまちにすることが出来ます。そして、市民一人ひとりが行き交う人々に笑顔で温かいおもてなしが実践出来るようになると魅力が伝わり易くなり、青森を好きになってくれる人が増えます。我々が先頭に立ち、行き交う人全員が笑顔になれる魅力溢れるまちを目指していきます。

【事業計画1】

1	事業名	青森スマイルプロジェクト（5月）【他3】
2	目的	笑顔溢れる市民を増やし活気あるまちづくりを進めるため
3	内容	暮らすまちの魅力を改めて認識し笑顔になれるフィールドワークの開催

【事業計画2】

1	事業名	まちのおもてなし探求事業（10月）【他3】
2	目的	心温まるおもてなしを実践出来るようにするため
3	内容	笑顔で心のこもったおもてなし方法を探求し伝播させる事業の実施